

出水期の大雨や土砂災害に注意しましょう！

6月から10月頃にかけては集中豪雨（梅雨）や台風の多い時期（出水期）になります。
大雨による河川の増水、土砂災害に注意しましょう。



「益田市防災ハザードマップ」を
確認しましょう

- ・まず、ご自身が住んでいる場所に災害の危険（浸水想定区域や土砂災害警戒区域）があるかを確認しましょう。
- ・次に、自分たちが避難する場所を確認しましょう。
- ・さらに、避難経路を実際に歩いて確認しましょう。



避難所での新型コロナウイルス感染症対策について

新型コロナウイルス感染症がまん延する状況において、災害が発生し避難所を開設する場合には、感染症対策に万全を期することが重要となります。

「避難」とは「難」を「避」けることであり、自宅での安全が確保される場合は必ずしも避難所に行く必要はありません。また、自宅が危険な場合も、避難先は市が指定する避難所だけではなく、安全な親戚や友人の家等へ避難すること避けるため、安全な親戚や友人の家等への避難も検討してください。

また、避難される方はマスクの着用、消毒液や体温計の持参等、各自で感染防止対策を心がけて行動してください。

いざというときに最も安全な避難行動をとれるよう、日ごろから感染リスクを考慮した災害への備えと災害が起きたときの対応を、一人ひとりが考えておきましょう。

避難所での感染拡大を防止するため、感染症対策にご協力をお願いします

1. 避難所の過密状態の防止

避難所の過密状態を防ぐため、自宅での安全が確保される場合には自宅にとどまること（在宅避難）を考えましょう。また、自宅から避難する必要がある場合も、指定された避難所だけではなく、安全な親戚や友人の家等に避難することも考えましょう。

2. 避難所の十分な換気の実施およびスペースの確保

避難所内は、適宜、換気を行うとともに、避難者が十分なスペースを確保できるよう留意しましょう。

3. 手洗い、咳エチケット等の基本的な対策の徹底

避難所では、断水等の影響がない場合、頻りに手洗いするとともに、咳エチケット等の基本的な感染防止対策を徹底しましょう。

4. 避難後の健康管理

適時、検温を行なって体温を確認するとともに、体調不良の場合はすぐに避難所スタッフに申し出てください。また、車中泊をされる場合は、エコノミークラス症候群の予防のため、適時、水分補給やストレッチ運動等を行いましょう。

5. 避難所の衛生管理

物品等は定期的に、おおよび目に見える汚れがあるときに、家庭用洗剤を用いて清掃するなど、避難所の衛生管理をできる限り整えましょう。